

「教育実習Ⅱ（幼稚園）」の報告

広島文教大学教育学部教育学科

教授 田 中 崇 教

I はじめに

本稿は2024（令和6）年度「教育実習Ⅱ（幼稚園）（以下、本科目）」の指導内容を整理し省察することによって、授業（教授方法）改善につなげるねらいをもつ。幼稚園教諭一種免許状の取得を希望する教育学部初等教育専攻幼児教育コース（以下、本コース）2024年度履修生（39名）を対象とした本科目は、幼稚園で実習を行い、幼稚園教諭に必要な実践力の涵養を目的とする。本科目および教育実習Ⅲ（幼稚園）で使用するテキストⁱ（田中ほか2024）では、教育実習の意義を次の5点に集約する。①教育の理論と実践の一体化、②基本的教育技術の習得、③発達期にある幼児の理解、④教育的人間関係における相互作用についての学修、⑤教師としての自覚の高揚

II 実施概要と省察

1. 2024年度の実施概要

2024年度も本科目は第6セメスタ（3年次後期）での開講科目になった。今年度はその3年目にあたる。また、詳しくは後述するが、2023年度入学生から新たに運用が始まっている幼稚園教諭養成課程では、教育実習Ⅲ（幼稚園）が第7セメスタから第6セメスタに移行する。このセメスタ変更を念頭に置きつつ、今年度における本科目の事前指導は2024年前期および後期に、事後指導（報告会を含む）は2024年後期に計画した。具体的には、以下に示すとおりであり、全て計画どおりに遂行した。

1-1 事前／事後指導

- 第1回 2024年6月20日（木）14：50－16：20
教育実習に関する基本理解，課題の確認 他
- 第2回 2024年7月12日（金）13：10－14：40
教育実習に関する理解の深化，実習園事前訪問に関する理解，課題の確認 他
- 第3回 2024年7月26日（金）10：50－12：20
教育実習に関する情報交換，今後の予定（変更を含む）の確認 他
- 第4回 2024年9月26日（木）ごろ各実習園が指定する時間帯
実習園事前訪問
- 第5回 2024年10月3日（木）13：10－14：40
教育実習に関する最終確認，事後課題の確認 他
- 第6回 2024年11月28日（木）13：10－14：40
事後指導，「事後考察課題」の確認 他
- 第7回 2024年12月5日（木）13：10－14：40
教育実習Ⅱ（保育実習Ⅰでの学びを含む）の振り返りに関するグループワーク
- 第8回 2024年12月12日（木）13：10－14：40
教育実習（保育実習Ⅰでの学びを含む）の振り返りに関する討議
- 第9回 2024年12月19日（木）13：10－14：40
実習の振り返り報告を終えての振り返り，教育実習Ⅱの総括一次の実習に向けてー

なお、実習期間中には科目担当教員が分担して訪問指導を行い、個々で指導を行った。得られた情報を主担当が集約・整理し、科目担当教員間で共有した。さらに、第9回目の事後学修として実習園からの評価に関わる個別指導を訪問担当（＝科目担当）教員で分担し、全ての履修学生に行った。

1-2 実習期間及び実習協力園

2024年度は次の七園である。履修生を二期に分け配置した。

学校法人龍花学園三入幼稚園，学校法人菜の花学園菜の花幼稚園，学校法人広島府中教会学園こぼと幼稚園，学校法人微妙学園みみょう幼稚園，学校法人明星院学院認定こども園二葉学園，学校法人武田学園広島文教大学附属幼稚園，学校法人有明学園かえで幼稚園

第1期 2024年10月11日（火）開始，10月24日（月）終了。（10日間）

第2期 2024年10月31日（月）開始，11月14日（月）終了。（10日間）

ただし、各園の事情を踏まえた若干の日程変更，並びに履修生の体調不良等による欠席を補充するための日程調整があった。ただし、個々の詳細は省略する。とりわけ、履修生の欠席や早退，遅刻について、実習園にご配慮を頂き，実習辞退者を除き全ての履修生が所定の時間を満たすことができた。実習協力各園，本学教職センターのご厚意・ご対応に感謝申し上げます。

2. 2024年度における指導・運営上の特徴と省察

2-1 使用テキストの改訂

保育実習と指導内容を共通化する事業として，今年度は「実習生個人票」と名称及び記入事項を保育実習と統一した。1年次の「幼児の理解」，2年次の「幼児教育の体験活動」とも共通化することによって，幼児教育コース生の学外演習科目，実習科目における書類作成が円滑に進むことを図った施策である。書類内の記入ミスを防ぐことから，学生側にも教員側にも利点がある。その結果，書き直しなどを行った履修学生は昨年度までと比較し，著しく減少した。

次年度以降において使用テキスト上の指導事項について，保育実習との共通化を図り，科目横断的指導を本科目は更に進めていく。また，先述のとおり，2025年度から教育実習Ⅲ（幼稚園）が第6セメスタへ移動することから，指導内容の改善と併せ，使用テキストの項目を整理する必要がある。

2-2 実習指導に対する自己点検の試み

今年度の新たな取組として，本コースの幼稚園教育実習及び保育実習に関する実習指導（事前指導・事後指導）を自己点検するための資料として，本科目の実習園を対象に意見を頂く取組を行った。成果は，別途公開する予定である。

引き続き，保育実習園にも対象を広げ，質の高い保育者養成を目指した実習指導の改善を図っていく。

Ⅲ おわりに—2025年度新カリキュラム移行に向けて

今年度も本科目の全ての計画を完遂できたことが大きな成果といえる。とはいえ，今年度は，実習への取組姿勢に指導を頂いた履修生が散見された。本コースの履修生のみでは決してないと実習園から添えていただけたものの，こうした指摘は重く受け止めなければならない。特に，実習2週目に差し掛かる時期に身体面での「疲れ」や，精神面での「慣れ」が実習生の姿勢に現れやすいとのことである。この場合，教員から実習期間中の訪問指導は有効である。だが，本科目は複数名の履修学生が実習園に赴くため，履修学生同士がお互いに声を掛け合う仕組みを講じていきたい。次年度の指導課題として挙げておく。

加えて，教育学科カリキュラムの改訂に基づく幼児教育コースにおける実習科目群で学びの系統化共通化も，引き続き関係教員と協議し，取り組む予定である。

i 田中 崇教・平山 裕基（2024）『教育実習のてびき・記録（幼稚園教諭一種免許状）』広島文教大学